

中華人民共和国
郷村都市化実験市（海城市）
総合開発計画調査
予備・事前調査報告書

平成11年1月

国際協力事業団

序 文

日本国政府は中華人民共和国政府の要請に基づき、海城市をモデルとして同国の郷村都市化実験市総合開発計画に係る調査を実施することを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施することといたしました。

当事業団は本格調査に先立ち、本件調査を円滑かつ効果的に進めるため、平成10年6月8日より6月18日までの11日間にわたり、貝原 孝雄 国際協力事業団社会開発調査第一課長を団長とする予備調査団を現地に派遣、引き続き平成10年11月1日より11月14日までの14日間にわたり、城所 哲夫氏 東京大学都市工学科助教授を団長とする事前調査団を現地に派遣しました。

調査団は本件の背景を確認するとともに中華人民共和国政府の意向を聴取し、かつ現地踏査の結果を踏まえ、本格調査に関するS/W及びM/Mに署名しました。

本報告書は、今回の調査を取りまとめるとともに、引き続き実施を予定している本格調査に資するためのものです。

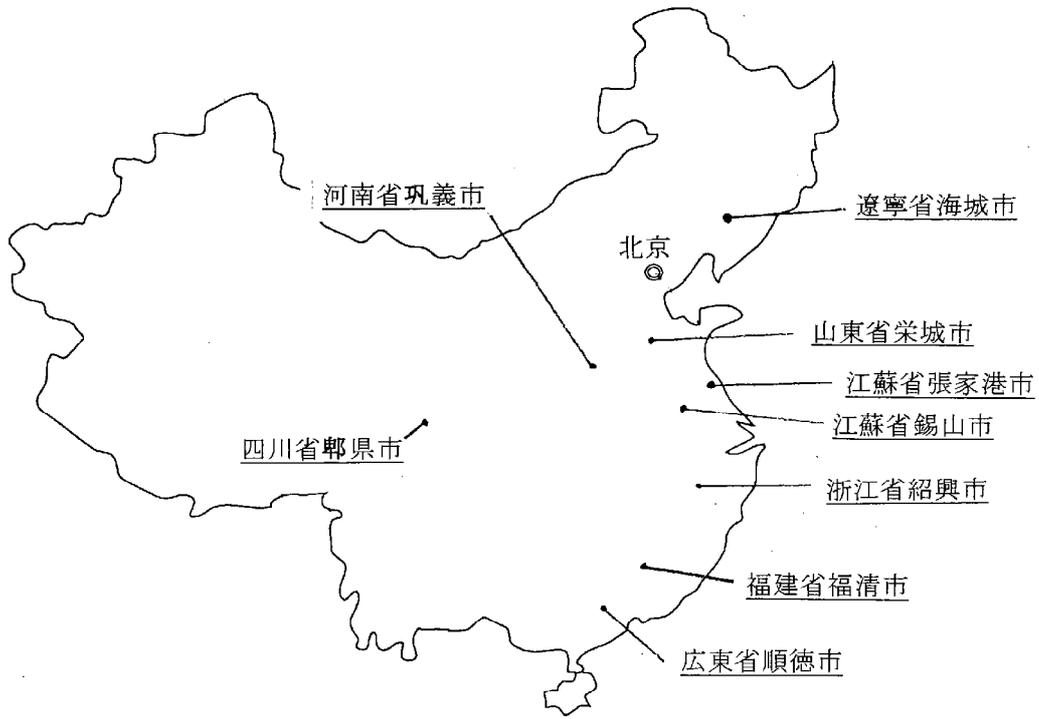
終わりに、調査にご協力とご支援を頂いた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成11年1月

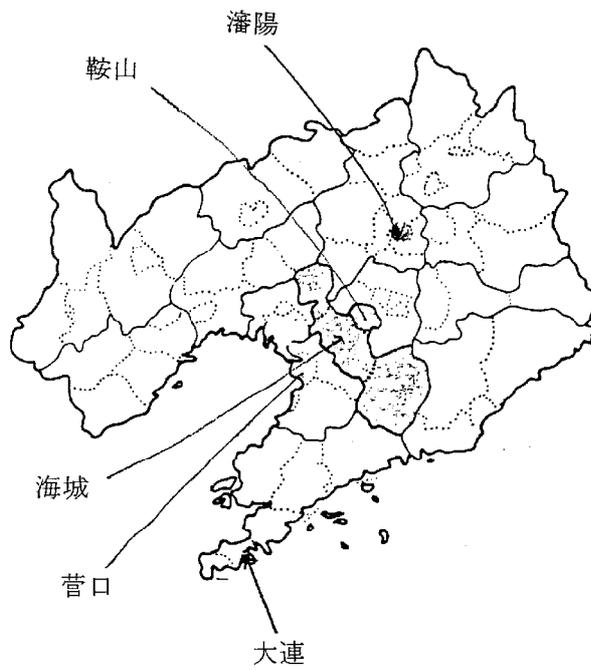
国際協力事業団

理事 泉 堅 二 郎

鄉村都市化實施市 9 都市

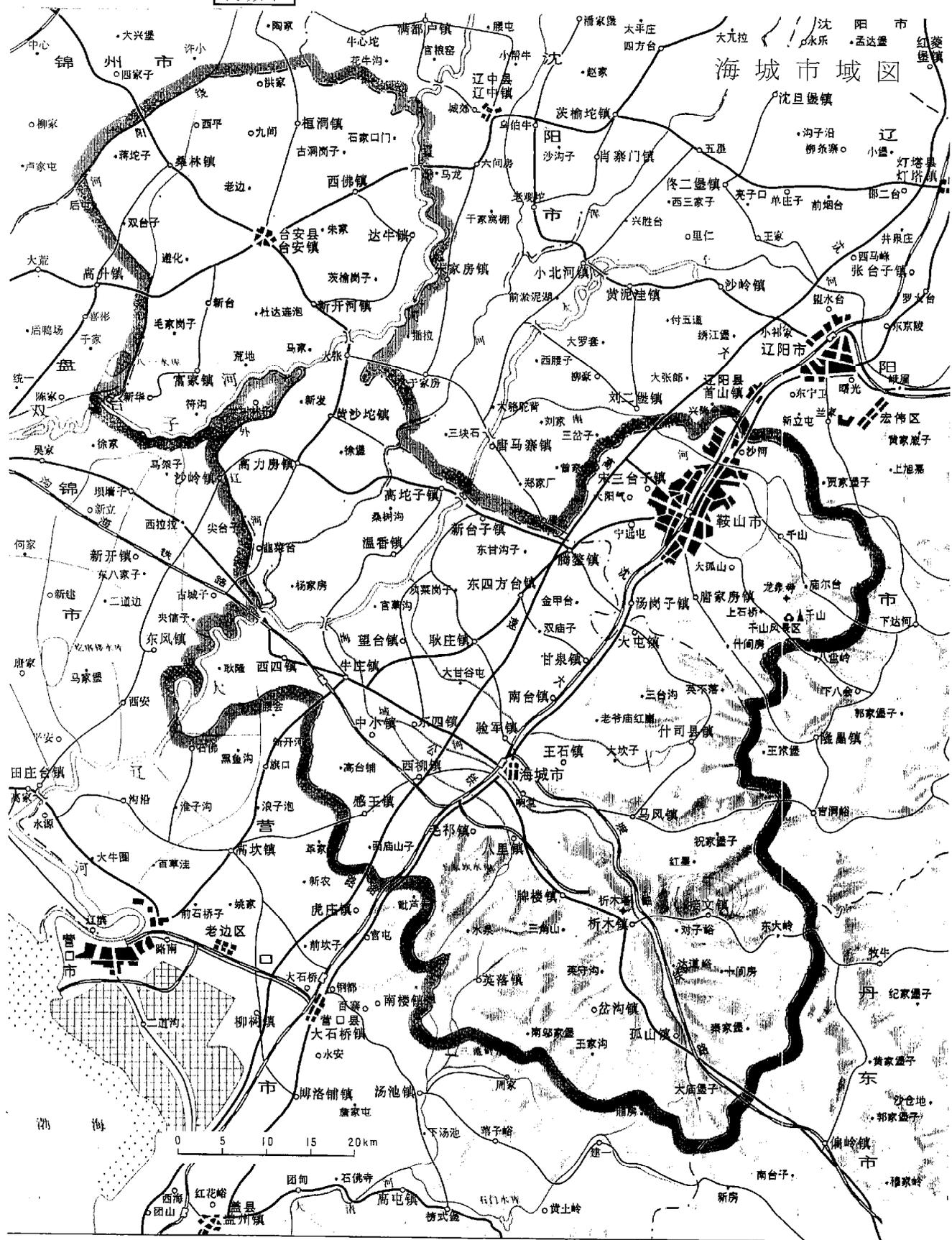


遼寧省



海城市

海城市域图





海城市热烈欢迎



西柳鎮アパレル市場（街）



西柳鎮アパレル市場



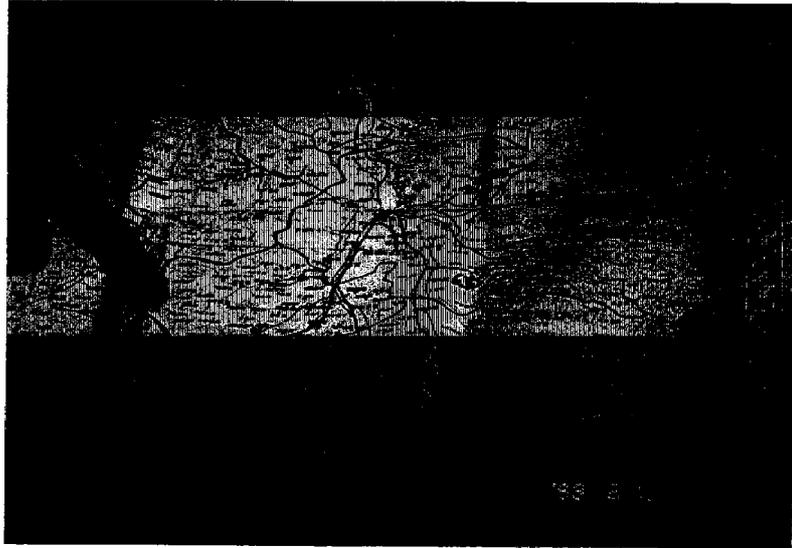
海城市中央口一タリ一
(回結路、中華路、北順域路)



海城市駅前通り(永安路)



海城市環状道路F/S



ダム予定地地図（左上が市内）



析木鎮ダム予定地



宮口鮫魚園港口
ドック遠景



海城市協議



予備調査協議議事録署名
貝原団長及び科技部葉処長



事前調査実施細則署名
城所団長、遼寧省科技委李副主任及び海城市張市長

目 次

序 文
地 図
写 真

第1章 予備調査・事前調査概要	1
1 - 1 要請の背景	1
1 - 2 予備調査協議の概要	2
1 - 3 事前調査協議の概要	7
第2章 中国地域開発戦略の現状と課題	10
2 - 1 改革開放政策と地域開発戦略	10
2 - 2 地域開発計画と都市開発計画	27
2 - 3 全国9 郷村都市化実験市	31
2 - 4 海城市の開発の現状と課題	33
2 - 5 中国の行政機構・法体系	46
第3章 環 境	49
3 - 1 環境予備調査の概要	49
3 - 1 - 1 環境配慮実施の背景と調査の方法	49
3 - 1 - 2 対象地域の環境現況	50
3 - 1 - 3 環境法制度と環境行政	55
3 - 1 - 4 スクリーニング及びスコーピングの結果と評価	63
3 - 2 環境に対する配慮と提言	70
3 - 2 - 1 総合開発計画における環境配慮	70
3 - 2 - 2 環境調査に対する提言	71
第4章 本格調査への提言	72
4 - 1 調査の目的・内容について	72
4 - 2 調査の工程について	77
4 - 3 要員計画について	77
4 - 4 調査実施上の留意点について	79

資料

1	要請書	83
2	対処方針	107
3	S/W、M/M	135
4	現地補足調査	169
5	民間コンサルタントの現況	207
6	資料収集一覧	213
7 - 1	建設部郷村都市化実験市指定に関する認可回答	219
7 - 2	国家建設部職能	223
7 - 3	遼寧省概要（1996・遼寧省年鑑から抜粋）	229
7 - 4	海城市概要	236
7 - 5	西柳鎮、析木鎮、南台鎮概況	243